

第1回 NITS 大賞（平成 29 年度）エントリーシート

愛知教育大学附属岡崎小学校 神門 大知

A-9

【活動名】 学校行事マネジメント

解決すべき課題： ※どんな問題を解決しましたか？
形骸化されている学校に関する行事の見直し，改善

目的や背景： ※解決すべき課題の背景や、活動の目的をおしえてください

本校の学校に関する行事は、これまでの流れを踏襲したものが多く、例年通りに取り組んできた。このようにしてきたことで、行事の共通理解や情報の蓄積、交換については担当者が代わることもあっても円滑に行うことができた。一方で、それぞれの学校に関する行事について検討する時間が短く、行事の重要度（子どもにとって、教師にとって）にもとづいて改善を検討したり、内容や運営方法まで検討したりすることができず、部分的な改善にとどまっていた。学校現場において業務改善は喫緊の課題であり、昨年同様の取り組みでの変革は見込めない。そこで、一人一人の教師が、形骸化された学校に関する行事の見直しと改善への対策立案ができるようになることを願い、学校行事マネジメント活動を行うことにした。本活動は、【行事の重要度作成】【優先改善行事の選定と対策立案】【対策案の実施】【対策案の有効性の検証】としている。

活動内容： ※何をしましたか？

活動の目的を達成するために、以下のような取り組みを行った。

○企画委員会（主幹教諭＋学年主任で行う定期的な会議）で「学校行事マネジメント」を行う。

学校行事マネジメントとは、第2回中堅教員研修で行った「リスク・マネジメント～危機の未然防止対策～」をもとに神門が作成した校内研修である。

【学校行事マネジメント】平成 29 年 12 月 15 日～

①行事の洗い出し

①行事の洗い出し

グループを1,3,5年主任，2,4,6年主任でわけて編成した。青付箋は学校全体にかかわる行事。黄色は学年，教科に関する行事とし，はじめに個人で思いつく行事を付箋に記入した。その後グループで共有，足りない行事を付箋に記入していった。

②学校行事 MAP の作成

②学校行事 MAP の作成

X 軸は教師の負担度，Y 軸は子どもの有用度(1～5)とした表を用意し，グループで検討しながら貼り付けていった。はじめに XY とも3の行事を選定し，その行事を基準として貼り付けるようにした。

③優先改善行事の選定と対策立案

③優先改善行事の選定と対策立案

グループの MAP から，改善対策立案を検討する行事を1つ選び，その行事の現在の状況，実施すべき対策，実施する上での問題点，課題点について検討した。

④シェア，振り返り

④シェア，振り返り

グループで検討した行事について発表し，意見交換を行った。その後，振り返りを記入した。

【対策案の実施，検証】平成 30 年度

⑤対策案の実施

⑥対策案の有効性の検証。成果と課題。



活動の成果： ※それによって、どんな成果が得られましたか？

有用度，負担度を位置づけることによって，改善又は廃止できるものが見えてきた¹。1 つ 1 つの行事が，どのような課題を抱え，何を改善すべきか細かく見ていく必要がある。【3 年学年主任の振り返りより】

優先改善行事として「部活動」を選んだグループでは，子どもの有用度に対して，教師の負担度が高いことが問題視された。話し合いのなかで，場の提供と外部委託をすることが立案された。教師負担度を5から2に引き下げるために，保護者，大学生ボランティアなどの地域人材の活用を行うことを提案していた。さらに，この対策案を実現するために必要なことも話し合い，「費用」「児童管理」「管理責任」が課題となったことが報告された。

下線部¹からは，様々な学校に関する行事を同じ視点「子どもへの有用度：Y 軸」「教師の負担度：X 軸」で整理したことによって，それぞれの重要度や位置づけが明確になったことを感じていることがわかる。今回，優先改善行事としてグループ内で1つに絞って行ったが，他の行事についても機会を設定し，同様の手法で考えていくことで，形骸化していた行事の見直しが進み，効果的かつ効率のよい学校行事になっていくものと考えられる。

アピールポイント： ※もっとも、がんばったことを、注目したことをアピールしてください。

本校の研究の進め方についての整理に応用²できると思った（分析研，教研，拡大教研など）。研究推進面でも仕分けを行うことができるため，精選 or 改善の整理ができる。【2 年学年主任の振り返りより】

今年度，本校の研究副主任を務めている2年学年主任の振り返りである。下線部²から，学校行事マネジメントを，自分の分掌に置き換えて考えていることがわかる。中央研修での学びを職員に還元することができ，この振り返りのように，さらに拡がり発展していくことを期待したい。

【資料1】実際に配付した資料

学校行事をマネジメントする

2017/12/15 企画委員会
主任教諭 神門 大知

1 マネジメントとは
マネジメントとは、直訳で「経営」「管理」などの意味。組織の目標を設定し、その目標を達成するために組織の経営資源を効率的に活用したり、リスク管理などを実施する事とされている。トヨタカーはマネジメントの父と呼ばれている。トヨタカーの理論を加藤清隆に置き換えて話した「もしドラ」によって、広く世間知られるようになった。次期学習態度変換でも「カリキュラム・マネジメント」の言葉が要点として出たり、学校経営における「学校マネジメント」「リスクマネジメント」の言葉が用いられるようになった。

2 学校行事マネジメント
今回は、企画委員会のなかで年間計画について検討するうえで、各行事について改善を図ることを目標とする。この改善のために以下のプロセスで行う。なお、このプロセスは SOMPO リスクケアマネジメント株式会社のリスク・ケアマネジメントをもとにしている。
【学校行事マネジメントプロセス】

①行事の洗い出し 個人15分 グループ20分

②行事マップの作成 グループ25分

③優先改善行事の選定と対策立案 グループ20分 シェア、振り返り10分

3 各手順詳細

①行事の洗い出し 個人20分 グループ20分

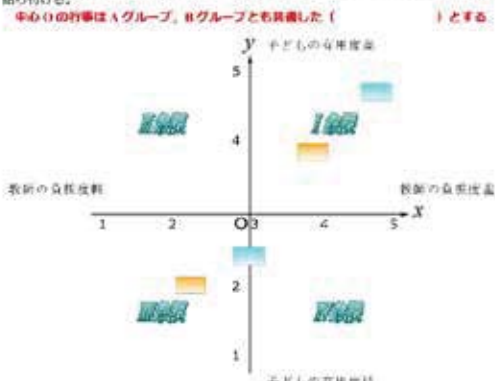
(1) グループ編成
Aグループ 1年主任 3年主任 5年主任
Bグループ 2年主任 4年主任 6年主任

(2) 行事の洗い出し
個人 思いのままに行事名を記入する。
グループ 個人の洗い出した行事を確認し、責任者―学校全体の行事 不足している行事を記入する。付箋の色は責任者―学年、教科が違えば個人と同様とする

-企画委員会資料 1-

②行事マップの作成 グループ25分

(1) 行事を行事マップに貼り付ける
X 軸を教師の負担度 Y 軸を子どもへの有用度 としたマップ上に洗い出した行事を貼り付ける。
中心の行事はAグループ、Bグループとも負担した()とする。



③優先改善行事の選定と対策立案 グループ20分 シェア・振り返り10分

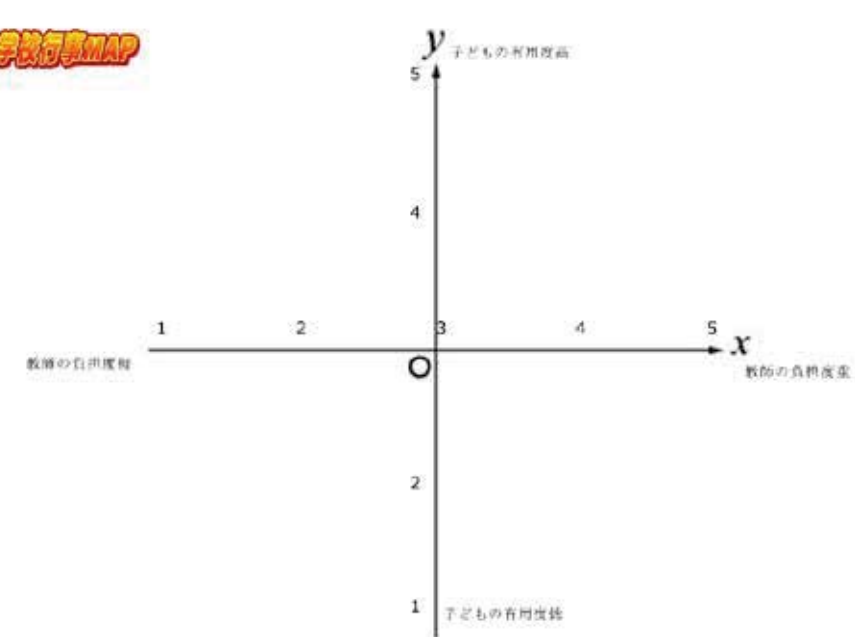
(1) 別紙ワークシートを用いて、行事マップのなかの行事から、「優先改善行事」を1つ選定し、その「改善策」を立案する。改善の視点は「行事内容」「時期」「運営方法」など多面的かつ、具体的に改善策を立案できるようにする。
(2) 立案したものを互いのグループで発表し、情報の共有化を図る。
(3) 本日の取り組みについて振り返りを行う。

-企画委員会資料 2-

No.	抽出行事	教師負担度	子どもの有用度
	現在の状況と課題点		
	実施すべき対策		
	上記対策を実施する上での課題点・課題		

-1-

学校行事MAP



【資料2】活動の様子

